

平成27年2月2日

第2回 学校評議員会 議事録

岐阜市立岐阜商業高等学校
司会 教頭 記録 瀬瀬

1 会議の名称 学校評議員会 (第2回)

2 会議参加者 委員 安藤久男 鏡島自治会連合会会長
竹本康史 岐阜聖徳学園大学教授
川田博子 元PTA会長

学校関係者 宗宮広幸 PTA会長

学校側 高木茂 校長
大野聡 事務長
片桐郁至 教頭
瀬瀬良二 教務主任
廣江修 生徒指導主事
森公彦 進路指導主事
小林和豊 商業科主任

3 会議の目的 地域社会との連携を深め、開かれた特色ある学校運営を推進する。

4 会議の開催 平成28年2月2日(火) 14:00~15:00
本校 校長室

5 会議の概要

(1) 挨拶(学校長)

本校の恒例行事となった「第33回市岐商デパート」は昨年度「柳ヶ瀬本通り」で開催したが、今年度は、一昨年と同様に本校で開催し多数の方々にご来場いただきました。しかしグラウンドへの駐車のため、来客者の渋滞により近隣の方々にはご迷惑をかけた。

今後とも地域の期待度が高いため、内容をさらに充実させ、生徒の活動の発表の場としたい。

生徒の学校生活については、全体的には落ち着きがあり、進路実現及び、授業や部活動において、検定等の資格取得、全校大会への出場等一定の成果があった。

この会においては本校の取組みに対し、忌憚のない意見を願いたい。

(2) 学校説明

ア 「自己評価・学校関係者評価」から学校経営についての報告(教頭)

保護者のアンケート結果から、「学校の教育目標である『市岐商ブランドの確立』に共感できる。」について90.3%の理解を得ている。生徒からは「人間としての基本的

なモラルやマナーを身に付けさせようと努めている」について 94.7%が当てはまると回答している。好評価を得ていることに甘んじることなく、学校の教育方針等について浸透するよう努めて行きたい。

イ 「自己評価・学校関係者評価」全般についての報告（教務主任）

「学校関係者評価」の保護者からのアンケートでは選択授業や少人数授業の実施については、保護者、生徒ともに概ね良い評価を得ているが、保護者は「わからない」という回答もあり、さらに理解を深めていきたい。

また授業の教え方についても、保護者、生徒から良い評価を得ているが、さらなる授業改善に努めていきたい。

ウ 生徒の様子について（生徒指導主事）

月1回の割合で身だしなみ指導を行い、高校生らしい端正な身だしなみとなるよう指導を行っている。

薬物乱用防止に向けて5月に講話を実施し、2月にも実施する予定である。

交通安全の指導については、新入生の4月における事故発生率が高いため、例年4月に1年生対象に警察の協力を得て、自転車による交通安全講習会を実施している。

情報モラルについては、携帯電話・スマートフォンの利用マナーの在り方について、事例紹介を交えて機会をとらえながら指導を行っている。

遅刻件数については、減少傾向にある。生活習慣を確立させるためにも遅刻を無くすよう継続して指導を行っていききたい。朝の校門での挨拶指導は生徒の基本的なマナーの指導となっている。

エ 進路状況について（進路指導主事）

就職者と進学者の割合は4対6である。昨年とほぼ同様の割合である。就職希望者については全員内定の通知を受け取っている。

キャリア教育については、デパートの取り組みを通じて行っている。インターシップについて検討しているが生徒の希望と一致する企業を見つけることが困難な状況である。

進路に関する講話やガイダンスを実施している。進学ガイダンスについては、三者懇談中に実施し保護者にも参加を促している。

今年度も就職希望者には、夏休みの期間を利用してOBによる面接指導を実施した。

3年生の生徒全員に小論文指導の実施、外部講師によるガイダンスを実施した。

ウ 部活動の活動状況について（教頭）

全国大会には相撲部が出場した。東海大会には陸上競技部、ハンドボール部、剣道部が出場した。またマルチメディア研究部が、イオンエコワングランプリに出場、ボランティア・スプリット・アワードに参加している。

オ 商業科（商業科主任）

「より高度な資格取得の達成に努めている。」と生徒の91.9%、保護者の89.0%が評価している。今後も進路選択に向け有効となる資格を取得できるように指導の充実を図りたい。また生徒の92.5%が「本校に入学できて良かったと思う」、保護者の94.3%が「お子様はよろこんで学校に行っている。」とそれぞれ評価しており、今後も生徒や保護者の期待に副えるよう努めたい。

カ 市岐商デパートについて（商業科主任）

地元洋菓子店と連携し、岐阜市産品のブルーベリーを使用した新商品の開発や和菓子店において生徒のアイデアによる新しい味覚の商品を共同開発した。

今後も取引業者および本校職員と連携を図り、実践的な取り組みを通じて専門性を深めていきたい。

生徒の感想文や体験実習ノートには大変貴重な経験となったとの感想が多くあった。

(3) 評議員からの意見

- ・市岐阜商デパートは33回目となり、積み重ねることによりものになっている。
生徒や保護者も大変であるが先生方の取組に対する苦労も感じられる。
- ・学校開催では例年車の渋滞がひどかった。これを解消するようにお願いしていたが、今年改善されていた。生徒や先生方が良く誘導等整理していた。
- ・デパートは大変よかった。地域では柳ヶ瀬でやってほしいとの声もある。
- ・地域行事である、虻夙揚げ大会には是非とも参加協力願いたい。
- ・論田川清掃については毎回参加されており地域にとってもありがたい。
- ・市岐商デパートでは若い子供連れの来客者が目立った（卒業生だと思われる）。
おむつ交換所の設営や、マットなどがあるとよい。
- ・市岐商デパートのマグロの解体ショーでは後ろからは人ごみで見えなかった。導線の確保があるとよい。
- ・市岐商デパートは生徒の活動する姿がよく見え、とてもよかった。
- ・高校での部活動の実績や資格取得は、就職時に大変有利となる。どんな資格でもよいので、進路につながるよう指導してほしい。
- ・学校では危機管理が大切である。会社でも同じである。安全第一に考え、日ごろの訓練が大切であり、その都度改善すべき点は改めていく必要がある。